

2. 超重度障害者への糸操り人形による非言語コミュニケーション

グループ名 音楽の贈り物
代表者 佐藤 純二

① 活動の目的

- ・ 入所高齢者の生活支援補助活動
- ・ 在宅高齢者の自立支援の補助活動
- ・ 障害者への生活支援の補助活動

② 活動概要

- ・ 平成 29 年 9 月に入院中の病室よりパペットハウス（人形製作者）へ人形制作の問い合わせをおこないましたが、話がまとまりませんでした。

自分自身が突然に難病（重症筋無力症）を患い、手足の自由が利かず、入院治療も長引き大幅に計画が遅れてしまいました。

- ・ 平成 29 年 12 月に入院中の病室より別業者（ヨシヤ工房）に再発注をおこない、平成 30 年 3 月に納品いたしました。
- ・ 平成 30 年 3 月より 8 月まで重度障害者生活介護事業所、拓北養護学校などにて計 14 回の公演をおこないました。

全体をとおして、自分自身が大きなハンディを持ってしまい、予定した計画数を達成できなかったことが残念であり、ご支援いただきながら大変に申し訳なく感じております。

しかしながら、子供たちの笑顔やPTAの関係者の方からの応援、また人形活動中に見かけた超重度障害者の方のご両親の涙がなんとも有難く、難病ですっかり細くなってしまった自分の心を強く打ちました。この先、続けて技をみがき、より良いコミュニケーションができるよう互いの幸せを拡大したい所存です。誠にありがとうございました。

③ 決算報告書

収入 大同生命厚生事業団助成金	100,000円
寄付金	50,000円
支出 糸操り人形製作一式	150,000円
合計	150,000円

